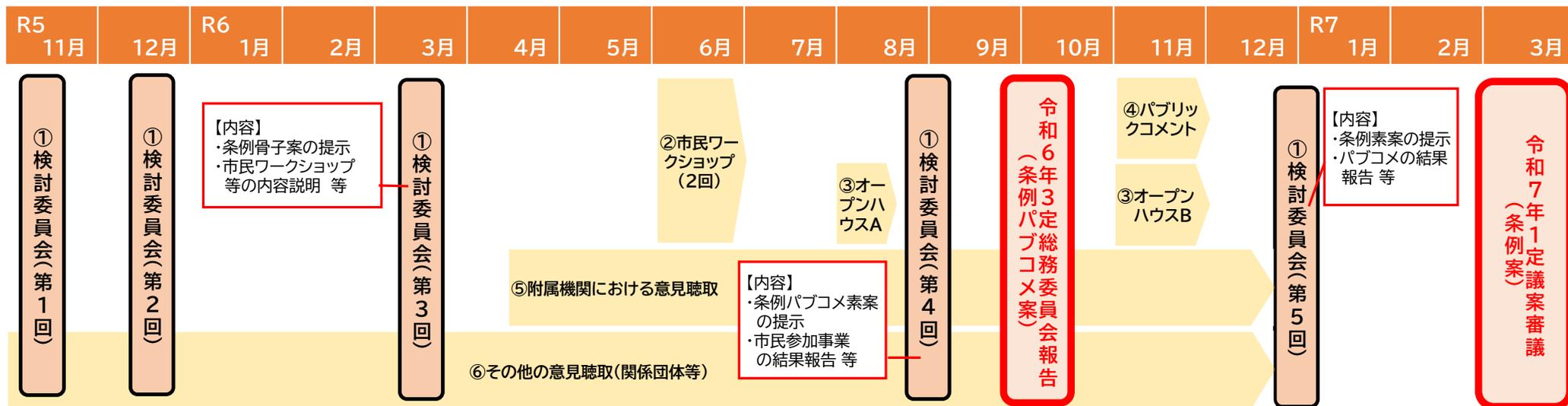


1 全体スケジュール



2 意見聴取手法・意見聴取先

- ① 札幌市ユニバーサル推進検討委員会
- ② 市民ワークショップ
- ③ オープンハウス(A・B)
- ④ パブリックコメント

概要	意見聴取先	時期
条例制定に向けた主たる外部有識者会議として、条例素案に対する意見聴取等を実施 	「障がい」・「性別」・「高齢者」・「子ども」・「国籍」・「民族」の6テーマごとの外部有識者・当事者等(計14名)	R5年11月～R6年12月の間に計5回
障がいのある方や性的マイノリティの方、外国人やアイヌ民族の方など、様々な生きづらさを抱える当事者らと交えたワークショップを実施(2回実施)	当事者を含む市民全般(各回30名、計60名程度)	R6年6月15日(土)・23日(日)
A 共生社会バリアフリーシンポジウムin札幌と合わせて実施したサイドイベントにおいて、条例制定に関する意見聴取を行う企画展示を実施(チカホ) B ④パブリックコメントと合わせて条例制定に関する意見聴取を行う企画展示を実施予定(チカホ・アクセスサッポロ)	市民全般	A:R6年8月4日(日) B:R6年11月
広く市民全般の意見聴取を行う観点からパブリックコメントを実施	市民全般	R6年11月

- ⑤ 附属機関における意見聴取
- ⑥ その他の意見聴取(関係団体等)

概要	意見聴取先	時期
市の附属機関である「福祉のまちづくり推進会議」(障がい関係)、「男女共同参画審議会」(性別関係)、「社会福祉審議会」(高齢者関係)、「子どもの権利委員会」(子ども関係)、「アイヌ施策推進委員会」(民族関係)の5機関で議題化の上意見聴取を実施 	各附属機関	R6年4月～12月
R5年度は「共生社会」をテーマに子ども議会を開催し、子ども議員から共生社会の実現に向けた多様な提案を受けたほか、R6年度は、新設した出前講座「札幌が目指す共生社会とは？」の活用等により関係団体への意見聴取を実施 	市内小・中学生(子ども議会)、関係団体	R5年10月～12月(子ども議会)、R6年4月～12月(関係団体)